

2025年度 実務経験のある教員による授業科目 都市創造工学科

学科共通科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
環境システム	2	3	藤長 愛一郎	前期 月曜日 1時限	建設業技術者（環境技術開発）12年：環境技術に関する建設技術者の実務経験で得た、実規模の水処理の経験を生かし、環境工学関連のこの科目が、実務にも役立つことを学生が認識できるようにする。	
地震災害と防災	2	2	小田 和広 水谷 夏樹 山下 典彦 北守 顕久 木元 小百合	後期 月曜日 2時限	水谷教授：建設コンサルタント技術者（海象調査解析）2年、国立研究所研究（波浪研究）3年 山下教授：メーカー技術者（機械設計・解析）1年 取り組んでいる課題が、実社会での課題解決につながることを意識させる。	
環境工学 1	2	3	藤長 愛一郎	前期 月曜日 4時限	建設業技術者（環境技術開発）12年：環境技術に関する建設技術者の実務経験で得た、建設工事の環境への配慮や環境修復工事の注意などの点で、環境工学の基礎であるこの科目が、実務にも役立つことを学生に認識できるようにする。	
地震工学	2	3	山下 典彦	前期 月曜日 5時限	実務経験教員：メーカー技術者（機械設計・解析）1年 実務経験を活かし、本科目に関する基礎知識の修得ができるような教育を行う。	
経済学の基礎	2	1	藤岡 由子	前期 火曜日 2時限	経営者としての25年の実務経験を盛り込み、経済学を机上の空論ではなく、実践に役立つ学問としてレクチャーする。	
心理学	2	1	平生 尚之	後期 木曜日 2時限	担当教員はこれまでに発達障害者への教育・臨床心理的支援に携わってきた。それらについての経験や知識を生かし、本講義では、時折ワーク等を取り入れ心理学をより体験的に学べるような内容にする。	
橋梁工学	2	3	山下 典彦	後期 木曜日 3時限	実務経験教員：メーカー技術者（機械設計・解析）1年 実務経験を活かし、本科目に関する基礎知識の修得ができるような教育を行う。	
特別講義 2	2	3	北守 顕久	前期 木曜日 4時限	伝統建築の補強業務に携わった経験を活かした、構造的見地からの考察	
建設施工学	2	3	岡本 泰彦	前期 木曜日 5時限	建設会社に従事している経験を活かし、工事へのアプローチ、問題解決などについての基礎知識が習得できるような教育を行う。また、災害などの最近の話題についても学ぶ。	
自然エネルギー工学	2	2	水谷 夏樹 中川 祐香 藤長 愛一郎	前期 金曜日 1時限	水谷：建設コンサルタント技術者（海象調査解析）2年、国立研究所研究官（波浪研究）3年 藤長：建設業技術者（環境技術開発）12年 実社会におけるエネルギー利用の重要性について実例を示しながら説明します。	
科学技術史	2	1	松村 悠子	後期 金曜日 1時限	省庁での勤務経験、サイエンスカフェ等地域のサイエンスコミュニケーションの実践を活かした政策科学および科学技術コミュニケーションの観点からの講義内容提供	
建築学概論	2	4	加藤 正浩	前期 金曜日 2時限	建築実務設計25年余り 実務設計の経験より、構想や発想のバックグラウンドとなる多方面の知識について、考え方等を伝達します。	
構造力学 2	2	2	山下 典彦	後期 金曜日 4時限	実務経験教員：メーカー技術者（機械設計・解析）1年 実務経験を活かし、本科目に関する基礎知識の修得ができるような教育を行う。	旧課程（2年生）
構造力学演習	2	2	山下 典彦	後期 金曜日 5時限	実務経験教員：メーカー技術者（機械設計・解析）1年 実務経験を活かし、本科目に関する基礎知識の修得ができるような教育を行う。	旧課程（2年生）

自由科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
ロジスティクス論	2	3	石橋 岳人	後期 月曜日 1時限	ロジスティクスの仕組みづくりに関して、実際の企業に向けてのコンサルティング経験を基に、事例紹介を通じて、知識を伝えるだけではない、より実践的な講義を実施します。	

【単位数合計】146単位

2025年度 実務経験のある教員による授業科目 都市創造工学科

自由科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
環境デザイン特別講義Ⅰ	2	3	横林 泰宏	前期 月曜日 2時限	地方自治体における実務経験を反映した、具体的・実践的な知識を提供する	
パワーエレクトロニクス	2	4	岩田 明彦	前期 月曜日 2時限	実務経験に基づき、パワーエレクトロニクスに関する実践情報を講義する。 実務経験教員：製造業技術者（電気機器制御研究開発）38年	
運動学（運動方法学を含む）	2	2	樋口 和真	前期 月曜日 4時限	実践現場での経験を具体例としてあげながら説明を行う。	
システムと制御	2	3	本田 雄一郎	後期 月曜日 4時限	実務経験：大学や企業の研究機関および病院における実務経験（健康・福祉・医療分野での研究開発）12年。 教育内容：システム制御に関する実務経験に基づく知見に基づき講義を行う。	
電気・電子工学	2	3	山本 伸一	前期 月曜日 5時限	製造メーカーの開発部門で勤務経験のある教員が、その経験を活かして、電子回路の基本的な知識と活用手法を講義する。	
ソフトウェアデザイン	2	3	東川 諒央	後期 火曜日 1時限	様々な業務システムやエンタープライズシステムを設計、構築、運用してきた経験から実務でも非常に重要なウエイトを占めていた部分を教育内容の方針としています。	
スポーツ医学（内科系2）	2	4	横井 豊彦	前期 火曜日 2時限	実務経験（内科医）を25年有する教員が担当するため、医療現場での実例などを交える。	
スポーツ医学（内科系1）	2	2	横井 豊彦	後期 火曜日 2時限	実務経験（内科医25年）を担当教員が有するため、実際の医療現場での例などを盛り込む。	
スポーツビジネス論	2	3	安井 直樹	後期 火曜日 2時限	安井直樹は、プロバスケットボールリーグBリーグに所属する大阪エヴェッサで社員（6年）・代表取締役（6年）計12年のプロスポーツビジネス経験がある。現在もプロスポーツチームや団体の営業支援をする会社を経営しており、スポーツビジネスの現場で日々活動を行っている。実際にスポーツ界で必要とされる知識やスキルを経験に基づいて詳しく解説する。	
情報システムの構築	2	3	東川 諒央	後期 火曜日 2時限	様々なプロジェクトのマネジメントを行なってきた経験や、プロジェクトへの参加経験からプロジェクトマネジメントへの向きあい方や現場への知見のフィット方法などを解説します。	
建築設備工学	2	2	山崎 政人	後期 火曜日 3時限	建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（31年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。	
建築環境工学	2	2	山崎 政人	後期 火曜日 4時限	建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（31年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。	
光エレクトロニクス	2	4	別所 靖之	前期 火曜日 5時限	会社の研究開発部門において、光エレクトロニクスに関する業務に約30年間従事した経験を有している。これらの経験から習得した技術、知識を講義テキストに反映し、理解しやすい体系に整えた教育内容としている。	
公衆衛生学	2	3	横井 豊彦	前期 水曜日 2時限	実務教員経験（内科医）25年（社会医学系専門医）5年、近年の実例を織り交ぜた講義を行う。	
商取引法	2	2	山本 到	後期 水曜日 2時限	保険会社、一般企業および独立行政法人において32年間企業法務を担当。企業法務での経験を活かして、実務的な観点から教育を行う。	
工業数学2	2	2	丸山 太加志	後期 水曜日 2時限	製造業技術者11年（エンジン設計4年，シャシ設計7年） 講義では実務経験に基づき、設計・開発の現場で数学がどのように役立つかを実例を挙げて解説する。	
計測工学	2	3	中山 万希志	後期 水曜日 2時限	企業における研究部門に29年間に在籍した経験を活かし、授業中に応用事例について解説を行う。	
会社法	2	3	山本 到	前期 水曜日 3時限	保険会社、一般企業および独立行政法人において32年間企業法務を担当。企業法務での経験を活かして、実務的な観点から教育を行う。	
デジタル信号処理	2	3	熊澤 宏之	後期 水曜日 3時限	実務経験教員：製造業技術者（社会インフラシステム研究開発）29年 実務での開発経験を活かし、講義の内容がいかに実務で役立つかを紹介する。	

【単位数合計】146単位

2025年度 実務経験のある教員による授業科目 都市創造工学科

自由科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
オペレーティングシステム	2	2	山田 耕嗣	後期 水曜日 4時限	実務経験：民間情報サービス企業、技術者（機器制御組み込みSE）7.5年、セールスサポートSE（基幹業務系情報システム企画、基本設計）10.5年、技術系組織部門責任者2年、民間情報コンサルティング企業 間接部門1年、間接部門責任者7年（いずれも経理・人事・総務・管理系部門） 上記を活かした内容：機器制御組み込みSE時の経験を踏まえ講義する。	
建築法規	2	3	吉岡 秀周	前期 水曜日 5時限	長年、建築行政に関わってきましたので、その経験を活かしクライアント及び近隣住民からの苦情対応など生の声を法的解釈を交え講義します。また、難解といわれる建築基準法の規定について、設計事例やテクニックを交えわかりやすく講義します。法律の規定に対し形式的に理解するだけでなく、規制や基準の趣旨を理解し、社会に出た時に対応できるようになることを目指します。	
生体力学	2	1	木下 和昭	前期 水曜日 5時限	臨床（理学療法士）として20年以上の経験があり、その経験を活用できる	
電波・通信事業法規	2	4	堀内 和広	前期 水曜日 5時限	総務省での情報通信行政、40年間の実務経験を通じた具体的な事例を紹介し業務に役立つ内容の講義を行います。	
デザインマテリアル論	2	2	稲垣 智子	後期 水曜日 5時限	アーティスト、アートプロデューサーとしての経験20年以上。作品コンセプトを基にマテリアルを選択するため、多様な素材を扱った実績を有する。	
構造工学Ⅰ	2	2	和多田 遼	前期 木曜日 1時限	構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士） 実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。	
建築意匠材料論	2	3	加藤 正浩	前期 木曜日 1時限	建築実務設計25年余り 実務設計で行っている基本設計、実施設計、監理の経験から、デザインを構想する上でのテクニク的思考方法について伝達します。	
構造工学Ⅱ	2	2	和多田 遼	後期 木曜日 1時限	構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士） 実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。	
廃棄物論	2	2	花嶋 温子	後期 木曜日 1時限	コンサルタント会社研究員（廃棄物計画）3年、コンサルタント自営（環境及び廃棄物計画）7年、この経験を活かして、現場で必要な知識を伝授する。	
財務管理論	2	3	石坂 秀幸	前期 木曜日 2時限	銀行業務32年（うちコンサルタント担当職務10年以上）の経験を活かし、各業態のビジネス戦略特性について概説。	
法人税法	2	3	加茂川 悠介	前期 木曜日 2時限	税理士業務及び財務捜査官時代の経験を活かし、社会で少しでも役立つ「税法知識の習得」を目指している。	
ハードウェアデザイン	2	3	伊藤 一也	前期 木曜日 2時限	実務経験：製造業技術者（自動車用運転支援技術開発）18年 システム設計に不可欠な論理回路の知識と技能について授業内容に織り込み、教育する。	
所得税法	2	2	中川 巖	後期 木曜日 2時限	現役の税理士が直接体験したことを利用して理解につなげる。	
健康運動プログラム論	2	3	黒瀬 聖司	前期 木曜日 3時限	医療機関に健康運動指導士として16年間勤務した経験を活かして、運動指導の現場に必要な知識、考え方を指導する。	
航空交通論 A	2	3	西澤 宏員	前期 木曜日 3時限	航空管制官としての勤務経験を活かし、より航空の現場の実情に沿った知識の習得ができるような教育を行う。	
応用組込みシステム	2	3	大津 めぐみ 宇野 結	前期 木曜日 3時限	組込みシステム開発、開発支援の実務経験を活かし、広く必要とされる基礎知識を修得できる教育を行います。	
施工法	2	3	加藤 正浩	前期 木曜日 3時限	実務により得た情報知識等を時折に講義で伝達とする。 実務経験教員：設計事務所等所属、25年余り。	
工業数学 1	2	2	丸山 太加志	前期 木曜日 3時限	製造業技術者11年（エンジン設計4年、シャシ設計7年） 講義では実務経験に基づき、設計・開発の現場で数学がどのように役立つかを実例を挙げて解説する。	

【単位数合計】146単位

2025年度 実務経験のある教員による授業科目 都市創造工学科

自由科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
航空交通論B	2	3	西澤 宏員	後期 木曜日 3時限	航空管制官としての勤務経験を活かし、より航空の現場の実情に沿った知識の習得ができるような教育を行う。	
構造材料学	2	3	加藤 正浩	後期 木曜日 3時限	建築実務設計25年余り 実務設計における、基本設計、実施設計や監理の経験から、基礎的な知識と実際の業務の関係と注意点等を伝達します。	
解剖・生理学	2	1	大槻 伸吾	後期 木曜日 4時限	臨床医の実務経験を活かし、スポーツ医学および健康科学に関する指導を行う。	
情報メディア工学	2	3	望月 誠二	後期 木曜日 4時限	製造業技術者（画像処理等半導体設計開発）28年 画像符号化の半導体への実装実務経験を活かし、製品開発現場での適用例・課題などを紹介します。	
環境衛生学	2	3	大槻 伸吾	前期 木曜日 5時限	臨床医の経験から、環境因子が人の健康や衛生に与える影響を解説する。	
建築論	2	3	疋田 訓之	前期 木曜日 5時限	建築実務設計25.4年 建築実務設計の経験を活かし、実践的な制作における根幹となる通時的な理論的概念のエッセンスを指導します。	
基礎鉄道工学	2	1	眞下 伸也 則直 久	前期 木曜日 5時限	【眞下 伸也】鉄道事業者（JR西日本）において車両のうち台車装置検修職場の責任者を2年間勤め、さらに約20年間は新幹線車両の開発実務を担当したことから、車両だけではなく車両との境界領域については地上設備に関しても知悉しており、それらの実務経験を通じて得れた知見を最大限に活かし、単なる知識の伝達にとどまらず、その背景にある「考え方」までをしっかりと伝える	
デザイン史	2	2	明界 要介	後期 木曜日 5時限	フリーランス（20年）としてデザイン及びデレクション、企画等を行ってきた実務経験を生かし、多様な表現とその背景を引用することでデザイン史により深い理解を提示できるような教育を行います。	
システムの最適デザイン	2	3	山田 耕嗣	前期 金曜日 1時限	実務経験教員：民間情報サービス企業、技術者（機器制御組み込みSE）7.5年、セールスサポートSE（基幹業務系情報システム企画、基本設計）10.5年、技術系組織部門責任者2年、民間情報コンサルティング企業間接部門1年、間接部門責任者7年（いずれも経理・人事・総務・管理系部門） 上記を活かした内容：民間情報サービス企業 セールスサーポトSE時の経験を踏まえ講義を行う。	
機構システム学	2	2	丸山 太加志	後期 金曜日 1時限	製造業技術者11年（エンジン設計4年，シャシ設計7年） 講義では、実務を通して得た経験に基づいて、設計を行う際の注意事項について解説する。	
構造計画論	2	3	和多田 遼	前期 金曜日 2時限	構造設計技術者：10年（構造設計一級建築士） 実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。	
A I ・ D X ・ D S 概論	2	2	中山 万希志	後期 金曜日 2時限	企業における研究部門に29年間に在籍した経験を活かし、授業中に応用事例について解説を行う。	
電子回路設計	2	3	熊本 敏夫	後期 金曜日 3時限	・実務経験教員：製造業技術者（電子回路設計）30年 ・教育内容：実務経験により得られた知見を交えて解説する	
財政学	2	3	林 智子 高山 寛	前期 金曜日 4時限	会社勤務、病院勤務等の経験に基づき、国の財政状況について、また、社会保障についても講義する。	
メカトロニクス	2	3	西田 吉晴	前期 金曜日 4時限	企業に35年間に在籍し、生産設備から機械製品のメカトロニクス技術の研究開発に携わった経験を活かし、メカトロニクス技術の育成とスキルの醸成を行う。	
サービスサイエンス	2	3	西本 博之	後期 金曜日 4時限	製薬企業における業務分析・改善提案などの実務経験から得た知識を盛り込んでいます。	
建築構法	2	2	中名 太郎	後期 金曜日 4時限	建築設計事務所3社で計12年、独立して18年設計・監理業務に携わる。計30年の実務経験を活かし建築構法に関する基礎知識を修得出来るような教育を行う。	
医工学概論	2	2	花之内 健仁 今田 寛人	前期 金曜日 5時限	臨床医（現在整形外科専門医）として25年の経験があり、その経験を活用できる（花之内） 臨床工学技士として18年の経験があり、その経験を活用できる（今田）	

【単位数合計】146単位

2025年度 実務経験のある教員による授業科目 都市創造工学科

自由科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
建築材料学	2	2	中名 太郎	後期 金曜日 5時限	建築設計事務所3社で計12年、独立して18年設計・監理業務に携わる。計30年の実務経験を活かし建築材料に関する基礎知識を修得出来るような教育を行う。	
再生医工学	2	2	花之内 健仁 今田 寛人	後期 金曜日 5時限	臨床医（現在整形外科専門医）として20年の経験があり、その経験を活用できる（花之内） 臨床工学技士として18年の経験があり、その経験を活用できる（今田）	
知的財産権	2	3	篠原 英樹	前期 土曜日 2時限	弁理士の行う知的財産関連実務10年以上経験。実務に基づいた知的財産関連業務全般について教育する。	